

1 本校がめざす学校像

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導の充実と共に、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上を目指す。
- 3 各コースの教育内容を充実させ、社会の情勢に合わせた特色ある教育を行う。
- 4 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 5 各コースの教育内容の更なる充実を目指す。
- 6 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 7 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。

2 中期的目標（到達目標として）

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 特進共通コースにおいては、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上を目指す。また、学び直しを実施し、自主的な学習習慣を確立させる。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性、正義感の強い生徒を育てる。
- 3 特進選抜コースでは、大学進学実績の更なる充実を図る。また、特進選抜コース入学者の増加と共に、特進共通コースからの転コースを加え特進選抜コースの人数を増やす。
- 4 IT総合コースでは、高校生としての自覚をしっかりと持たせ、規律を重んじる生徒を育成する。また、コースの専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 5 環境福祉コースにおいては、保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。その中で主体的に物事に取り組む姿勢を育む。また、環境問題や社会福祉に対する高い意識を持った生徒を育成し、社会に貢献する力を育む。多様な個性への許容の心を育てる。
- 6 スポーツ健康コースでは、集団行動により、協調性の育成をめざす。また、素直で思いやりのある心を育てる。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。
- 7 特進総合コースは、大学進学に力を入れると共に、多様な進路に対応するため各種検定試験や補習授業の充実を図る。指定校推薦頼みになるような、進路指導からの脱却をめざす。
- 8 グローバル化の進展に伴い、短期語学留学の実施などを通して、国際理解教育に取り組む。
- 9 本校強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 10 学校施設・設備の充実、また老朽化した校舎・トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。
- 12 教育改革会議を立ち上げ、新カリキュラムに対応した、本校の将来像を検討する。アクティブラーニングおよびICT教育推進のため、ICT教室を新設し、その教育内容を検討する。2020年度新テスト実施に向けて、本校の取り組みを検討する。

【学校教育自己診断の結果と分析】

平成30年度の学校運営自己診断

（平成31年2月実施 教職員自己評価アンケートをもとに）

◎ 教育内容

情報教育については、ICT教室の設置を踏まえ、更に充実させて行く。また、携帯電話の校内持ち込み許可に伴い、マナー教育・情報モラル教育を強化する。人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレのリニューアルに伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。食育については、本校は弱い。

生徒の自主的な活動としての生徒会活動については、生徒の要求の吸い上げにより、アイスクリーム自販機の設置を行った。また、学園祭において、体育の部では団対抗や応援合戦の実施、文化の部では前夜祭の開催など、生徒会の活動は充実してきている。今後、この方向を更に推進したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。部活動の活性化は本校の重要な柱として位置づけている。学校として支援する体制を更に強化したい。

◎ 生徒指導・支援

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。更に期待に応えられる体制を整えて行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に答えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、情報発信において保護者評価が低いことから、今後の新テストの実施を見据え、充実した情報の発信をお願いしたい。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。ただ、保護者の評価は高くない。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

◎ 教員研修・資質向上

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。長期休業中の教員研修の回数を増やす必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

◎ 総合評価

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という体制は堅持したい。ただし、一部頭髪指導・防寒具の規定等、厳しすぎるという意見もあることに留意したい。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。進路の情報発信については、保護者からの要望が強いため、更に工夫を重ねたい。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っているが、更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。また、保護者評価において「精華高校の社会における評判は良い」の評価は低評価である。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、国際交流室を中心に引き続き取り組む。教員研修、教員の資質向上についても更に充実させなければならない。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校を目指す。また、時代の要請に応えるべく、学校改革、教育改革を思い切って進め、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

学校協議会からの意見 [平成30年9月実施分]

出席者 堺市福田校区自治連合会長
堺市西陶器校区自治連合会長
堺市東陶器校区自治連合会長
精華高等学校保護者会長
精華高等学校同窓会長
精華高等学校校長
精華高等学校教頭（2名）
精華高等学校事務長
精華高等学校教務部長
精華高等学校生徒指導部長
精華高等学校進路指導部長
精華高等学校ミドルリーダー（4名）

1 校長挨拶・現状報告

・生徒指導関係

生徒にとっては窮屈かもしれないが、きっちり指導している。

- ・進路に関する情報発信を保護者が希望しているので、要望に応じていきたい。
- ・制服についてマイナーチェンジをしたので、皆さんに知っていただきたい。
- ・本校の動画を作成した。入試説明会を予定しているが、その際に活用する予定である。

・教育改革推進

文部科学省から2020年に向け改革を求めべく計画が下りてくる。大学入学共通テスト・アクティブラーニング等授業の展開においても改革を求められ、本校でもICT教室の敷設し、その活用を検討し教育改革を推進している。

・施設の充実

ICT教室の敷設・トイレ改修 将来的にはグラウンドの人工芝化などもしていければと考えている。

2 見学会の感想

- ・環境がよくなっている。10年前はバス乗車の状態も良くなかったが、今日授業を拝見して寝ている生徒もいたが概ねよかった。通学時もルールを守り登校している。先生方の指導が行き届いているように思える。
- ・イメージがだんだんいい方向になっている。中学校段階でコースの選択は難しいが、高校3年生ぐらいになると目標も明瞭になっているように感じる。寝ている生徒もいたが自分たちもそうだった。高校によって特色を持たせてほしい。
- ・IT情報教育、英語教育の必要性を感じるのでぜひお願いしたい。生徒の指導については根気よくやってほしい。通学時の状態をいえば、精華だけではないがスマホを見ながらの自転車通学など危険を感じる。事故などに気を付けてほしい。応援している。
- ・服装がきちんとしている様子を感じる。他の公立では化粧等がすごい。生徒からは厳しいと思われるだろうが、引き続き校則を守る指導をお願いしたい。
- ・服装の乱れを感じる。他校の方がもっとひどいが、精華を卒業した者としてはせっかくいい制服を着ているのにきちんと着てほしい。教室の美化について考えてほしい。床などがほこりっぽい。自転車通学のマナーについては、以前は注意したこともあるが改善している。挨拶してくれる生徒さんも増えた。
- ・集団になると乱れが起こる。しかし、以前に比べると挨拶もよくしてくれる。
- ・東陶器小学校（旧校舎）の南西エリアは、登校時、自動車・自転車・小学生・中学生・高校生・こども園児など非常に混雑している。また、私学であるからこそできること、その取り組みが大切。
- ・バス通りなので自転車のことはあまりわからないが、辻之地域ではそういった苦情があるでしょう。危険な場所を把握していきたい。

3 学内関係者の意見

- ・校内では、現状に満足していないので、もっと頑張りたい。我々も勉強していかなければならないし、特にICT教育、アクティブラーニングなどを勉強し、授業力の向上に努めたい。また、先ほどご指摘があったよう

に教室の美化に力を入れたい。

- ・進学校は評価が高いが、本校は大学・短大・専門学校・就職と多岐にわたり進路を保障している。生徒の希望に沿った進路が保証できる学校をめざしている。教育改革についてはなかなか難しい部分があるが情報を収集し生徒・保護者に提供するように努め、短大・専門学校・就職についても頑張っ指導していきたい。
- ・集団で通学する際に問題が発生している。個人では問題はあまり発生していない。生徒には時間の大切さを教えていきたい。
- ・本校は広域に門戸を開いている。もちろん学力においても広く門戸を開けている。まだまだやらなければいけないことがたくさんあるが、頑張っていきたい。

4 要望等

- ・グラウンドが気になる。人工芝などを早く検討していただけたら。
- ・緊急連絡メールを早く導入してほしい。
- ・防災の時には地域にも協力してほしい。

5 本校ミドルリーダーの感想

- ・状態はよくないと感じるので引き締めていきたいと思う。
- ・50分の授業を集中させたい。英語を教えているが、「読み」「書き」「聞く」「話す」をすべて求められているが、特に「聞く」「話す」に力を注ぎたい。
- ・地域の方から話を聴き、生徒たちが迷惑をおかけしていないと聞けて安心しびっくりもした。生徒には学校で学んだこと、指導したことが将来生かさせていってもらえたらと思う。できない生徒でも集中できるような授業をしていきたい。

学校運営計画表

	PLAN [重点目標]	DO [具体的取り組み]	CHECK [自己評価]	ACTION [改善の為の方針]
1	日々の授業を充実させる。	教員の授業に対する意識を高める。その方策として、生徒の授業評価の実施を検討する。研究授業を充実させ、授業公開を増やす。授業の着席指導を徹底させる。授業中の巡回を行い、不成立の授業がある場合、教員が教室内に入り改善を行うこともありうる。	△ 教員によって授業に対する意識や、取り組みが不十分な授業がある。残念ながら6月に行われた保護者懇談会において、授業の不成立や授業に対する要望が出ている。また保護者評価内の「学習指導に関する項目」においても約30%近い否定的見解があり、今後に向けての重要な課題である。	各コース長と連携し、各コースの問題点・課題などを整理し、コースの教育内容の充実・発展につなげる。生徒の授業評価を行い、授業の改善につなげたい。また、引き続き授業公開に積極的に取り組んでいきたい。尚、30年度の課題として取り組んできた常任外の教員についての意識向上も引き続き改善できるように取り組みたい。
	学校自己評価「授業公開状況」 学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。			
2	高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。落ち着いた雰囲気の中で、授業を受けさせる。将来を見据えた的確なコース選択をさせる。特進共通コースにおいて、学び直しを実施する。	入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。昼食時巡回を毎日実施する。週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、5月から早朝学習を実施する。コースガイダンスの内容を充実させ、コース選択のミスマッチをなくす。特進共通コースにおける学び直しを実施する。	○ 学校生活に関しての認識が各家庭ごとに大きく違う時代であるように感じている。それでも各教員の組織的な対応で成果を出している。コース選択については、特進共通コースのから2年次の選択において、やはり若干のミスマッチが見られた。	保護者のアンケートからは概ね良い評価をいただけている。引き続き学校生活の根本については丁寧に指導していきたい。特進共通コースでは、学び直しシステムの構築のため更に検討を重ねる必要がある
	学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、特進コース長とのヒアリングをもとに評価する。			
	中学校までの復習を実施し、苦手科目を克服する。学習の習慣を身に付けさせる。授業と講座を通じて、	放課後・長期休業中の受験講座を充実させる。そのため、外部講師の派遣も検討する。早朝学習・コース合同テスト・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。入試対策	一人ひとりが希望する進路の実現には確実な結果が出せている。しかし大学進学を意識した進路指導	進路指導部中心の組織的な対応を強化したい。また進路指導部と特進3コースの連携にも工夫していきたい。本校

3	<p>大学受験に必要な学力を習得させる。大学進学に関する情報を提供すると共に、自ら調べる力を養成する。入試問題を数多く解き、受験に対応出来る実力を身に付けさせる。志望校に合格させる。</p>	<p>室・広報を中心に、広報を強化し、特進選抜コース入学生の増加を図る。特進共通コースからの転入を促すため、生徒の大学進学に対する意識を高めるよう指導する。</p>	△	<p>という点では、検討材料であった外部講師の派遣は実現していない。放課後・長期休業中の受験講座を充実させるには、まだまだ課題が多く進展していない状況にある。大学見学会・進路講演会・勉強合宿（特進選抜コース）は予定通り実施して効果があったように思われる。保護者評価の進路指導についての評価はどの項目も否定的意見が20%あまり出ている。</p>	<p>は大学進学が全ての高校ではないが、大学希望者への協力体制を見直し、的確な指導に結び付けたい。</p>
	<p>学校自己評価「生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある」、また保護者評価「学校は進路に関する連絡や、情報提供を十分にしている」「学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗っている」等の満足度の結果を確認し、保護者の意見欄を参考にしながら、特選コース長とのヒアリングをもとに評価する。</p>				
4	<p>IT総合コースでは、規律を重んじ、高校生としての自覚を持たせる指導を行う。プレゼンテーションやコミュニケーションの能力を更に向上させる教育を行う。情報モラル教育をしっかりと行う。情報に関する専門性を高め、さらに魅力的なコースにしていく。</p>	<p>基本的な生活習慣を確立させ、遅刻・欠席をなくす指導をコース全体で取り組む。コンピュータに関する資格取得率100%をめざす。また、簿記検定にも取り組む。情報モラル教育を強化し、ネット関係のトラブルを未然に防ぐ。プレゼンテーションの方法を学び、コミュニケーション能力を向上させる。情報系の専門学校と連携し、専門的な講座の開講を企画・実施する。</p>	○	<p>情報モラル指導についてはまだ多くの課題を抱えている。年々複雑になる世間の技術に教育指導が間に合っていない状況を感じる。 IT総合コースの取り組みに関しては、コンピュータに関する資格取得率は今年度も高く、情報処理技能検定1級取得も良い結果であった。</p>	<p>現在のコースの教育内容を、更に充実し推進させる。特に校内のコンピュータについても新しいものへの入れ替えが必要なため、計画通りに運びたい。また生徒の資格取得率は、更に上をめざしたい。</p>
	<p>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価「情報能力育成」「情報モラル指導」、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にし、IT総合コース長と検討を加え評価する。</p>				
5	<p>高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を確立させる。環境福祉コースの色を活かした教科実習や活動を通じて、やさしく思いやりのある心を育む。また、環境や福祉に対する専門性を高め、更に魅力的なコースにして行く。</p>	<p>遅刻・欠席については実習先との関があるため、厳しく指導する。コース朝礼において、生徒のプレゼンを実施する。保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での実習・交流を引き続き充実させる。ビオトープ実習や、無農薬野菜の栽培を通して、環境問題に対する高い意識を持った生徒を育成する。介護職員初任者研修を実施する。</p>	○	<p>実習が多く、準備段階から工夫と努力が必要なコースである。学外の施設との連携も順調であるが、生徒の意識の向上やマナー指導などではまだまだ課題が見つまっている。介護職員初任者研修では受講者全員が無事研修を終了しており、一定の成果が得られたように感じている</p>	<p>引き続き介護職員初任者研修にも力を入れていきたい。このコースの持つ専門性への挑戦は他コースには少ない特徴があるため、面白いと感じている。無農薬野菜の栽培やビオトープ実習などは継続していく。</p>
	<p>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価『環境教育』の項目、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にし、環境福祉コース長と検討を加え評価する。</p>				
6	<p>スポーツ健康コースでは、集団行動と協調性の大切さを意識させ、時間厳守を守らせる。コースの特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりある心を育む。さまざまなスポーツやトレーニング</p>	<p>遅刻・欠席をできる限り少なくするために、保護者との連携をしっかりと行う。ゴルフ実習や、金剛登山等コース行事を通して心身を鍛え、スポーツの楽しさを学ぶ。コース講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を学ぶ。身体体力測定やマラソン大会などの補助役員を務め、集団に貢献する心を養う。</p>	○	<p>集団行動と協調性の大切さを意識して指導を行った。精華学園祭体育の部での「集団行動」の実演を今年度も実施できたゴルフ実習や耐寒登山などは、スポーツの楽しさを学ぶことが出来た。コース</p>	<p>日々の授業における専門性を高めることは大きな課題である。学校設定科目の内容を見直したり、新カリキュラムにむけての対応を初めて行きたい。</p>

	に関する知識を学び、自らの健康の保持、増進に努める。		講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を学ぶことが出来た。		
	6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価「健康・食育」、「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、スポーツ健康コース長と検討を加え評価する。		しかし学内で「食育」という観点から生徒を育成することには課題を残している。		
7	<p>大学進学に力を入れる。公務員希望や職希望など多様な進に対応するため、各種検定試験や補習授業の充実を図る指定校推薦頼みになるような、進路指導からの脱却をめざす。</p> <p>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、特進総合コース長と検討を加え評価する。</p>	<p>学習習慣を確立させ、基礎学力を底上げする。また、コース独自の補習により、学習体制を強化する。希望者にはスタディサプリの活用により、放課後や家庭学習において基礎学力の向上や受験科目の勉強を積極的に促す。漢字検定や英語検定などの資格取得を積極的にめざす。新聞コラムや漢字、一般常識などを朝学において学ぶ。大学進学実績の向上と共に、専門学校や公務員・就職などの多様な希望進路を実現させる。</p>	△	<p>ICTを利用した学習を開始した。まだ効果については未知数ではあるが、引き続き活用していきたい。放課後の進学講座については、色々と工夫を重ねているが、生徒が興味を持つには至っておらず、生徒の進路希望について検討する必要がある。ような進路実現については概ね達成できた。</p>	<p>大学進学に力を入れるためには、更に講座の見直しが必要である。公務員や就職など多様な進路に応えるための方策を打ち出す必要がある。今後も指定校頼みの進路指導から脱却する必要がある。</p>
8	<p>国際理解教育に取り組む。</p> <p>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、特進総合コース長と検討を加え評価する。</p>	<p>個人参加型の語学研修を実施し、成功させる。その際、事前指導・事後指をしっかり行う。大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業に参加する。海外の学校との姉妹提携を模索し、交換留学生の制度を確立する。特進選抜コースを中心に、ネイティブの活用やオンライン英会話の実施を検討する。</p>	×	<p>残念ながら、本校における「国際理解」状況は全く改善されていない。語学研修についても参加者不足で実施できなかった。</p>	<p>具体的な方針が必要である。次年度には最新の設備を備えた教室を作製する予定である。この教室を利用したオンライン英語教育を実施したい。</p>
9	<p>強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。</p> <p>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</p>	<p>本校における部活動指導の位置づけを明確にし、部活動顧問手当を拡充する部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、広報活動を更に強化する。オープンスクールの参加人数を増やし、部活動推薦生徒の入学生増加を図る。吹奏楽部・インターアクトクラブ・演劇部等を中心に、地域社会に貢献する。</p>	○	<p>保護者評価においては81%の肯定的評価を得られた。それでも私学のクラブ活動としてはまだまだ不十分な点が多い。充実の吹奏楽部に次ぐクラブ作りが必要である。</p>	<p>文化クラブの充実のため、学園としても積極的な補助を考えていきたい。また運動クラブにおいては、野球部およびサッカー部の部員拡大を図りたい。</p>
10	<p>老朽化した校舎・トイレの改修・改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。</p> <p>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」「学校内は、</p>	<p>昨年に引き続き、西校2階の生徒トイレを改装し洋式化する。校舎老朽化に伴う外壁工事を、引き続き行う。講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。</p>	△	<p>保護者評価において本校の施設についての満足度は低く70%に満たない。それでも清掃の項目は70%以上の評価をいただいた。</p>	<p>生徒会活動等を通じて美化意識の向上をめざしたい。老朽化している箇所があるため、出来る箇所から改善していきたい。また改装中のトイレについても引き続き工事を行う予定である。</p>

	清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。			
11	<p>学校広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図る。</p> <p>学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。そのため動画の作成を行う。ホームページを見直し、情報発信を更に充実させる。本校の斬新な広報を継続する。</p>	×	<p>ホームページについての保護者の評価は肯定率が50%強になっている。古くなっている箇所もあり見直しが必要である。</p>	<p>広報の担うセクションを新たにして、検討を実施する。</p>
	保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率70%以上をめざす。			
12	<p>2020年の新テスト実施、また、アクティブラーニングの推進、近い将来のカリキュラム改変に向けて教育改革会議を立ち上げ、新カリキュラムに対応した、本校の将来像を検討する。アクティブラーニングおよびICT教育推進のため、ICT教室を新設し、その教育内容を検討する。</p> <p>2020年新テスト実施に向けて、教育改革会議において対策を検討する。カリキュラム改変についても、教育改革会議において推進していく。アクティブラーニング推進については、引き続き教頭を中心に各教科若手教員を組織し研究して行く。ICT推進のため、ICT教室を新設し、その教育内容を検討していく。成績アップ指導のあり方、成績評価のあり方等、本校の諸課題についても教育改革会議において、学校の方向性を出す。</p>	○	<p>教育改革会議の内容を的確に学校内に周知し、それに基づいて対応していくことは、簡単ではない。それでも本校としての目標や課題を見極め、少しずつではあるが前に進んでいる。ICTやアクティブラーニングといった新しい教育に対応していきたい。</p>	<p>ICT教室の新設に関して具体的に進んでいる。これを確実に遂行していきたい。またそれを利用した教育についていくつかの案がまとめられている。引き続き、検討会議を開きながら、対応していきたい。</p>
	学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。			